

やさしい日本語でまちさんぽ

やさしい日本語でやさしい世界を！

2022.10.7 埼玉県立大学地域包括ケア推進セミナー

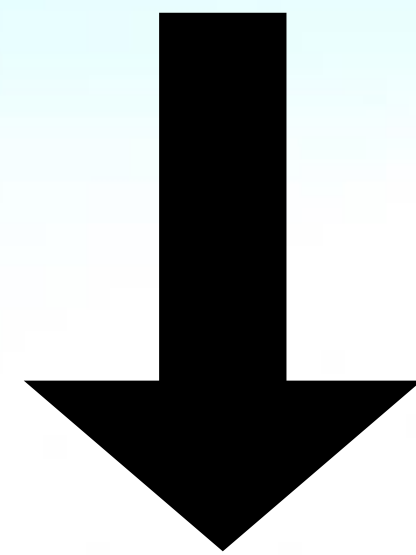
ふじみ野市社会教育課 小林久美

今日お話しすること

- なぜ、この事業に取り組もうと思ったのか？
- やさしい日本語のあれこれ
- この事業で目指すこと

なぜ、この事業に取り組もうと思ったのか？

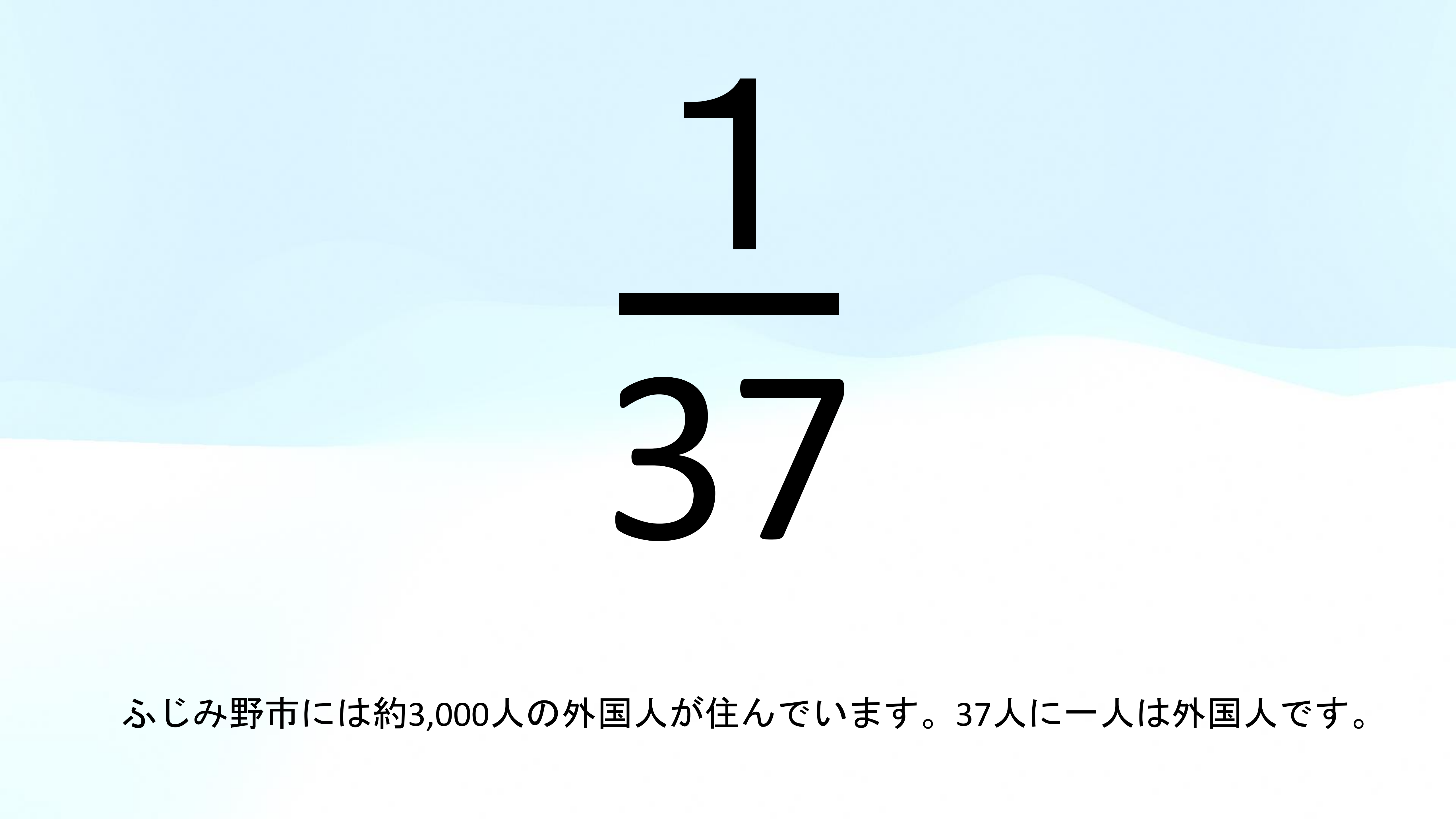
- ふじみ野市には歴史や文化財、魅力的な場所もあるが、市民の中でもいまいち認知度が低い。



- なんとか興味を持ってもらいたい。
- 認知度を上げたい。



福岡河岸記念館（旧回漕問屋福田屋）


$$\frac{1}{37}$$

ふじみ野市には約3,000人の外国人が住んでいます。37人に一人は外国人です。

61

61カ国からやってきた人々がふじみ野市に住んでいます。

なぜ、この事業に取り組もうと思ったのか？

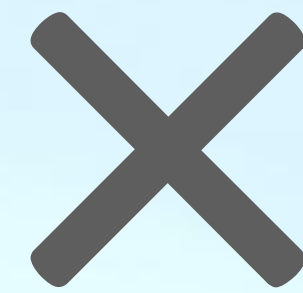
- 最近、外国人が増えたな～という実感。
- 海外からの旅行客に来てもらうのは難しくても、在住外国人なら観光の対象になるんじゃないか。
- 海外からの旅行客は歓迎されるけど、地域に住んでいる外国人は問題視されることもある。交流が進むことで、相互理解にもつながるし、外国人と交流したいと思っている人もいるはず。
- やさしい日本語の本を読んだところだった。



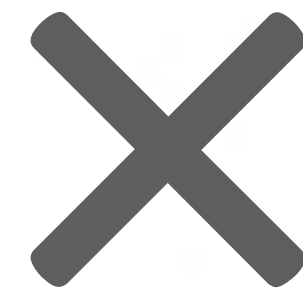
著者 吉開章さん

なぜ、この事業に取り組もうと思ったのか？

ふじみ野市の文化財を盛り上げたい



ふじみ野市には外国人がたくさん住んでいる



日本語なら
案内できるかも！

やさしい日本語

やさしい日本語でまちさんぽ ツアーガイド養成講座

外国人を案内するために、ふじみ野の歴史や文化財を学ぶ日本人も増える！

- 2022年7月3日 公開講座「広がるやさしい日本語の世界」を開催。77名参加。
- ふじみ野市内の歴史や文化財、魅力的な場所、体験などを、在住外国人にも分かりやすくやさしい日本語でまちを案内するツアーガイドを養成する講座。
- 全7回講座。①やさしい日本語を知ろう②おさんぽコースを考えよう③外国人を案内してみようの3ステップで構成。9月11日が第1回目。最終回の11月27日は、養成講座参加者が企画したツアーを実施。初めて会う在住外国人をやさしい日本語で案内します。
- 日本人、外国人共に23人ずつ参加。



埼玉県ふるさと創造資金をいただいて事業を実施しています。

9月11日 第1回講座の様子

やさしい日本語のあれこれ

- やさしい日本語のはじまり
- これだけは覚えておきたい！「はさみの法則」
- やさしい日本語は外国人向け？
- やさしい日本語から始めるD&I

やさしい日本語のはじまり

阪神・淡路大震災の教訓から

1995年1月の阪神・淡路大震災では、日本人だけでなく日本にいた多くの外国人も被害を受けました。その中には、日本語も英語も十分に理解できず必要な情報を受け取ることができない人もいました。

そこで、そうした人達が災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」の始まりです。そして、「やさしい日本語」は、災害時のみならず平時における外国人への情報提供手段としても研究され、行政情報や生活情報、毎日のニュース発信など、全国的に様々な分野で取組が広がっています。

定住外国人が理解できる言語として、「日本語」は62.6%、「英語」は44%という調査結果が国立国語研究所より示されています。

これだけは覚えておきたい はさみの法則

- は つ き り
- さ さいごまで
- み みじかく

- 大阪に住んでる友達と久しぶりに会って、新宿に行って、お好み焼き食べたんだよね。そしたら、「ウチが作る方が美味しいやん」ってなって、今度うちでお好み焼きパーティーするんだけど、来る？

もとの文章

- 大阪に住んでる友達と
- 久しぶりに会って、
- 新宿に行って、
- お好み焼き食べたんだよね。
- そしたら、「ウチが作る方が美味しいやん」ってなって、
- 今度うちでお好み焼きパーティするんだけど、
- 来る？

はさみの法則で言い換えた文章

- 私の友達は大阪に住んでいます。
- 私は友達と久しぶりに会いました。
- 友達と新宿に行きました。
- 私たちは、お好み焼きを食べました。
- 彼女はもっと美味しいお好み焼きが作れると言いました。
- 今度私の家でお好み焼きパーティをします。
- パーティに来ますか？

やさしい日本語は外国人向け？

分かりやすい日本語はみんなにやさしい

- 分かりづらい公文書（市役所からの手紙など）
- 長くて複雑な文章を読むことが苦手な方（認知症、知的障害など）
- ろうの人が話す手話と日本語の文法は違う（日本人だから日本語を話すだろうという思い込み）切れ目なく、ダラダラと話されると手話通訳者は訳しづらい。

万能ではない、やさしい日本語

- 病院や警察、裁判所等、命に関わることや権利に関わることは、当事者の母語で対応する必要がある。（多言語対応が必要→電話通訳の活用など）

やさしい日本語から始めるD&I

ダイバーシティ & インクルージョン（多様性と社会包摂）

- 講座での感想から～「同じ地域にこんなにたくさんの外国人が住んでいたんだということに気づいていなかった。これからは、同じ地域に住む隣人として付き合っていきたい。」
- これをきっかけに、外国人だけではなく、いろんな「自分と違う人」と出会っていけると世界が広がるのではないか。（許容範囲が広がる？）
- 究極的には社会は個人の集積。伝わるやさしい日本語も一人ひとり違う。肩書きや職業、年齢、国籍などで一括りにせず、一人ひとりと向き合っていくことから進められれば。

この事業で目指すこと

日本人と在住外国人の交流が進むこと

まちの好きなところを誰かに話したくなること

「やってみよう」精神の人が増えること

やさしい日本語でやさしい世界を！

仲間がいれば
心強い

ありがとうございました

やさしい日本語ラップ「やさしい世界」
<https://www.youtube.com/watch?v=2fYxhoUwqAg>

